

御所湖随想

H25年11月 No.6 1

ヒマラヤの青いケシ！

町場地区園地に仲間入りするかもしれないお花です。この青いケシの故郷は中国南西部からヒマラヤ山系の標高 4000～6000mの高地です。夏が非常に冷涼で排水の良い所で育っているため、日本の様に夏の暑い地方ではうまく育たないようです。とにかく気温 25℃が生存の限界温度らしく、しかも冬期はハウス内で凍らない程度から 15℃位（原産地では厚い積雪下にあるためでしょうか？）で保温管理するようになっており、栽培管理の条件が厳しく、発芽はさせたものの、この後が大変そうです。（頑張ります！小さな声で）



左の写真は 11月3日の姿で～す。子葉の大きさは 5mmほど。本葉が出始めました。第一回目の移植は本葉が 3～4枚頃となっていますが、いつごろになるのでしょうか？この冬場に移植でしょうか。春まで待ってられないかなあ…。

なお、開花は通常 3～4年目の 6月～7月中旬頃で、澄んだ青色の花が楽しめるかもしれません。



「成長の花畑」の **キバナコスモス・サンセット** はちょっと雑草に負け気味でしたが、多く方に見てもらいました。お花に代わってお礼を申し上げます。来春は、**菜の花** になります。上の写真のように菜の花の若葉がまばゆい町場となっております。（11月5日撮影）御所湖畔の紅葉は、もう少し楽しめそうです。展望やぐらからがお奨めです。